

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	民間保育所施設整備事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	保健福祉部	課等名	子育て支援課		包含する細々目	1	3	2	5	13	1	
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり					1	3	2	5	13	4	
施策	37 子どもを産み育てやすい環境の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		済み						
		事業期間	S48	年度～	年度							
						関連計画	飯田市社会福祉施設整備事業補助金等交付要綱(市1/4)					
						条件等						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	・民間保育所14園	民間保育所の数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			14			
	改築等により事業拡大等を予定している民間保育所数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
		3				
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
・民間保育所の施設の安全と良好を確保する。	改修の必要がない民間保育所数 / 民間保育所数 (%)	18目標	85	最終目標		
		18実績		19目標	92	↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度
	事業拡大等の意思があり、対応できる環境が整っている民間保育所数 / 事業拡大の意思がある民間保育所数 (%)	18目標	33	最終目標		
		18実績		19目標	50	↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	<ul style="list-style-type: none"> 民間保育所が行う施設改修等に対する補助事業。 国が示す建築単価の1/2ずつを国及び市が補助。 市の負担分のうち1/2は国からの交付金措置がある。 施設改修の必要が生じた箇所を整備し、安全で良好な保育環境を整備するもの。 多様化する保育要望に対応するための施設整備。 17年度末の段階で改築等を必要とする保育所は4箇所 高松・羽場・時又・飯田子供の園 18年度の追加協議分は年度内の完了が不可能なため翌年度へ繰越。 	<ul style="list-style-type: none"> 当初予算 高松保育園改築2年目 68,420千円 7月末竣工 (交付金36,013千円・市単補助32,407千円) ハード交付金18年度追加協議 羽場保育園改築 90,575千円 (交付金50,319千円・市単補助40,256千円予定) 明星保育園拡張 38,324千円 (交付金21,291千円・市単補助17,033千円予定) 時又保育園一部改築 46,206千円 (交付金25,670千円・市単補助20,536千円予定) 	出来高100%	86362500円 84,116,000円 53,550,000円
	18年度の実績			
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源	133,293	
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	110,232	
	事業費計(A)	243,525	0
人件費	正規職員所要時間	18年度 100	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	358	0
	トータルコストA+B	243,883	0

特定財源内訳や補足事項
 ・次世代育成支援対策施設整備費交付金(ハード交付金)国1/2・市1/2(うち1/2は旧補助制度の県負担分相当に当たるものであり、交付税措置されることとなっている。)

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	民間保育所の施設整備を促し安全と良好を確保することにより、産み育てやすい社会環境が整う。	子どもを産みやすい社会環境であると感じている対象者の割合	現状値	22.1	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	30
	子どもを育てやすい社会環境であると感じている対象者の割合		現状値	55.8	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	60	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
・民間保育所の施設整備には国からの補助金(交付金)があるが、安全で良好な保育環境を確保するため、市としても一定程度の負担が必要であったため。 ・また、多様な保育要望に応えるため、民間保育所の施設整備が必要であったため。		・保育要望は多様化しており、改修が必要な箇所が多くなっている。 ・年々老朽化が進み、修繕の必要性が増加している。 ・市の行財政改革の一環として、保育所の民営化を推進していることから、民間保育所の信頼性をより高めていく必要もある。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	(評価) 必要ある (その理由)		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	実施年度 〇〇年	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 公立、私立を問わず、保育環境の維持、向上のために改修が必要な保育所から、整備していく
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法		2か年の継続事業であり、他保育園の改修は19年度以降である。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断		(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	